

学校通信



喜多見



No. 7 令和5年11月28日

喜多見の学び舎

世田谷区立喜多見中学校

校長 紺谷 祥一

〒157-0067 東京都世田谷区喜多見4丁目20番1号 TEL 03-3417-4971(代)
E-mail: dai131@setagaya.ed.jp <http://school.setagaya.ed.jp/tkitami/>

先輩から後輩、大人から子どもへの確かなバトン

校長 紺谷 祥一

10月28日（土）、4年ぶりにフルボリュームの合唱コンクールを実施しました。喜多見中二大行事の一つと言える本行事の開催は、去る6月実施の運動会以上に、「伝統の継承」としての価値が色濃く反映されていたと感じています。感染予防に係る様々な取組みが緩和された中で、生徒たちは音楽の授業はもちろん、放課後の時間を使って課題曲と自由曲の練習を学級の仲間とともに、一生懸命に取り組んでいました。初めての経験に試行錯誤を繰り返す1年生、昨年度の「発表会」の経験を何とか活かそうともがく2年生、何にでも付く「中学校最後の」の冠と“最高学年”のプレッシャーに立ち向かう3年生。—その横顔は、まさに成長曲線のグラデーションそのものでした。そして、本稿に際し、本行事を主として担当した音楽科教諭の南條が寄せた言葉もまたとても印象的です。

『また子どもたちに教えられました。2年生にはピアノの弾ける子が少ないとから、アカペラ（無伴奏）の曲への挑戦となつたのですが、当初子どもたちはその難しさに困惑していました。それでも授業や放課後の練習を重ねるにつれ、芽生え始めた“できる”という自信を自分たちで大きく育て、子どもたちは見事に歌い切っていました。一方、3年生は既に視点が違っていたのには驚きました。練習の段階から、見に来た後輩を意識していたのです。いい歌を届けたい、歌う自分たちの姿を見せたい、という熱がそこにはありました。そして、1年生。1年生には歌の好きな子たちに助けられました。彼ら彼女たちが核となってすごく頑張っていました。今後は真のリーダーの出現が楽しみです。音楽は本当に気持ちであり、心だと実感します。気持ちや心は横に伝わり、広がり、そして届くのだな、と。素晴らしい体験を共有できた思いでいっぱいです！』



種々の学校行事のねらいは、その取組みを通して人間関係を形成し、集団への所属感や連帯感（＝居場所の実感）を深めたり、さらには公共の精神を養い、協力してよりよい学校生活を築こうとしたりする自主性や実践力を育てるにあります。コロナ禍では先輩と後輩が一緒に空間で何かを取り組むことの優先順位は低くなっています。今回の“本来の形式”を通じ、先輩の姿をまじまじと目に見る営みは、後輩には言葉以上に伝わるメッセージがたくさんあります。驚き、憧れ、不安、尊敬、信頼、葛藤…。成長曲線のグラデーションを意識する瞬間

は、現在地とめざすべき道や方角の確認でもあり、こうした特別な活動が今日のキャリア教育に通底する理由でもあります。『先輩は凄いな～』、『先輩は、かっこいいな！』、『自分も近い将来、あんな風になれるのか？』と憧れたり、不安に思ったりする心の揺れが、成長を刺激するのだと思っています。その意味でも、この貴重な「縦のつながり」を実感できた今年度の合唱コンクールは大成功でした。

先輩が先輩としての責任を果たすことができているのには、平素からの信頼関係があるからです。私は、喜多見中には「先輩ぶる先輩」が非常に少ないと注目します。喜多見中・喜多見小のいわゆる“一小一中”的よさの一つに、学年を越えた仲のよさがあります。偉そうに先輩ぶって後輩に接するような言動を耳にしたり、目にしたりすることは本当に少ないと感じています。むしろ、先輩らしく、後輩らしくあろうとひたむきだったり、それ自体を全く自然に振舞えたりする爽やかな姿が印象的です。かくいう私もよく、『校長然としなくては！』と意識して背伸びした言葉を発して反省することはたびたびです。そんな時の言葉はだいたい相手には響かず、期待した反応は得られないもの。おそらく、教師ぶって言ったり、親ぶってやったりしたことが、かえって反発を招いた経験は、私たち教職員はもちろん、保護者の皆様の中にもあるものだと思います。自分が理想とする姿に対し内発的に自らの姿を寄せようと努め、謙虚な気持ちに基づく立ち振る舞いができたとき、先輩から後輩、大人から子供へのバトンはしっかり継がれるのだと気づかされます。合唱コンクールを締括した、南條の第一声はその象徴の一つです。

1年生の様子から（望月亘）

合唱コンクールでは、各クラスが心を込めて合唱することができました。「大切なものの歌詞をかみしめながら歌う姿に、会場から惜しみない拍手をいただきました。期末考査では、「勉強の足跡」を利用して学習計画を立てましたがどうでしたか。期末考査が終了し、休み時間が始まる同時に「終わったあ～」という声が上がりいました。学習の成果が100%出せたでしょうか。数学科では、テストの1週間前にワークブックの提出を呼びかけていました。苦手個所を見つけ、その克服をしてテストに臨むためです。提出率は71%でした。今では次の単元（空間図形）に向けたレポートも始まっています。24日現在の提出率は60%。100%をめざします。

冬休みまであと一ヶ月余り。年内行事は、1日から始まる三者面談、14日実施予定の大根収穫、19日予定の体験型英語学習施設[東京GLOBAL GATEWAY]。一日一日を大切にしましょう。

※お知らせ：冬休み明けに「計算コンテスト」(50題)を行います。「冬休みの宿題」から出題します。この課題に向けての取組みは、三者面談期間中から実施できます。満点をめざしましょう！

100%

2年生の様子から（持田朋子）

2学期になり、委員会活動・行事・部活動などを含め学校生活の主体を担うようになってきました。少しずつその自覚を持つようになり、また行動面にも表れているように感じます。一方で、少々慣れや気持ちの緩みも見受けられます。生活のリズムは乱れてはいないでしょうか。就寝時間は何時でしょうか。朝ご飯はしっかり食べているでしょうか。期末考査が終わり、登校時間がぎりぎりの生徒、遅刻してしまう生徒の姿が少し多く見受けられます。今年もあと一ヶ月。今一度自分の生活を見直し、直すべきところは改め、今の自分の課題・目標を見つけて欲しいと思います。「こんなことを頑張った」「1年の時は出来なったことができるようになった」等、充実した気持ちを持って年の瀬を迎えるいいですね。



今年は例年なく気候の変動が激しいです。「季節外れ」という言葉も多く耳にします。10月からインフルエンザが流行し、11月になってもまだ半袖で過ごせるような日もありました。体調管理に心がけてください。

3年生の様子から（大関雅樹）

修学旅行、合唱コンクールなど、3年生の主要な行事も終え、11月からは自己PRカードの作成や面接対策学習を皮切りに、進路に関する取組が本格的に始動しています。11日に開催されたマナー講座では、入試における面接スキルについて学び、「話すことに抵抗感がなくなり、話を丁寧にまとめることができた」「日常生活から正しい言葉遣いをすることの大切さを感じた」など、礼法をはじめ、質問に対する答え方のポイントについて理解を深めました。26日には入試に関わる初めての試験となる「中学校英語スピーキングテスト(ESAT-J)」を受験しました。「これが勝負の雰囲気だと思った」「模擬テストよりも緊張感があった」「練習通りにいかないこともあった」「いつもわかっている単語や文法がすぐ出てこなくて焦った」「ふだんの積み重ねが大切だと思った」「緊張したけど自分の全力を尽くせた」と、普段と違う環境の中で実力を発揮することの難しさを痛感していました。今週末からは最終の進路面談、校長による面接練習も同時期に実施されます。ご家庭でも生徒たちの進路の取組を話題にしていただき、保護者様からもご助言、ご支援くださいますようお願いいたします。

わたしの授業

今月は番場 智幸先生（E組担任、理科・数学担当、サッカーチーム顧問、本校1年目）の授業紹介です。新規採用の番場先生の得意はサッカー。中・高とサッカーチーム副主将だったとか。週末も学生時代の仲間とフットサルに汗を流すほどのスポーツマン。校内に爽やかな風を吹かせています！

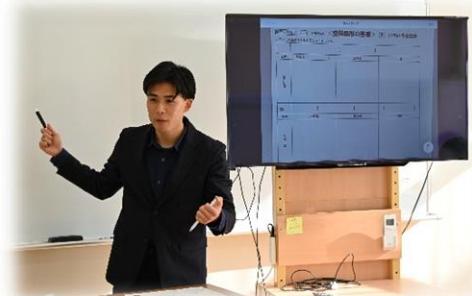


理科の実験では、仮説を立て実験をし、結果が得られます。そこから考察して次の仮説に繋げていくというサイクルを踏んでより確実性のある理論を構築します。

私は、日々事あるごとにこのサイクルを意識しています。意識することで上手くいったから継続していくこうと思えたり、ここが上手くいかなかったから改善していくこうと気づいたりすることができ、少しずつ成長している実感を味わうことができます。また、理科は身近なものとの関連が多い教科です。今までぼんやりと見てきた景色が視点

を変えて見ることでまた違った景色に見えたりします。日々の授業では身近なものと絡めながら、生徒の皆さんのが『なるほど、そういうことか！』と思えるような、視点を変えるきっかけになるような授業をしていきたいと思っています。

この中学の3年間は高校・大学・その先への基盤となる大切な時期です。当たり前ですが自分に出来ること・出来ないことは人それぞれ違います。それそれが自分自身の目標に向かって努力していることだと思います。私はそんな皆さんのが力になればと思っています。





今号の「わたしのきたみち」は、國學院高校に通う早川 知沙さん（R.2 年度卒）。早川先輩はバレーボール部の名セッターとして活躍。また、各種行事ではリーダーとして学級を牽引したり、生活委員としても貢献したりしたこと。思い出深い岡部学年の生徒のお一人です！

こんにちは、令和2年度に喜多見中学校を卒業し、現在國學院高校に通っている高校3年生の早川知沙です。中学校ではバレーボール部に所属し、仲間とぶつかり合いながらも目標としていた都大会に出場しました。休日練習はとてもハードで互いに意見をぶつけ合うミーティングも辛くて何度も辞めたいと思いました。しかし辞めずにやりきった甲斐があって高校では部長とキャプテンを任されました。中学の時と違って練習メニューがスタメン、引退の時期までもすべて自分達で決めたため、壁の連続でしたがとても充実した時間でした。そこで2年半苦楽と共にした仲間は高校生活で得た一番の宝物です。

私が通っている高校は1学年600人前後、全校生徒約1800人と喜多見中の6倍の生徒がいる渋谷のマンモス校です。学校の前に国立競技場や明治神宮野球場があり、とにかく人が多いです。そんな都市部にあり遊ぶのには最高な場所に思えますが校則が他の高校と比べ厳しいです。寄り道、バイト、イベント時以外の携帯の使用は禁止で服装や遅刻にも厳しいです。しかし逆に言えば友人との時間を大切にしています。そして、人が多い分、イベントは中学とは比にならないくらい盛り上がります。同じ学校にいても顔も知らない人がたくさんいる中で体育祭が生み出す1800人の一体感には心が震えました。

中学生の皆さんには今しか出来ないことや自分の好きなことを思いっきりやってほしいです。傷ついたり落ち込んだりすることもあるでしょうが、その経験は自分の一部となり何らかの形で活きてきます。だからみなさんも振り返った時に輝かしい学生生活を送ってください。



学校から発出する文書のペーパーレス化について（試行・協力のお願い）

文部科学省通知「学校が保護者等に求める押印の見直し及び学校・保護者等間における連絡手段のデジタル化の推進について（通知）（令和2年10月）」により、「学校が保護者等に求める押印の見直し」「学校・保護者等間における連絡手段のデジタル化の推進」が求められています。本校ではすでに、PTA活動を含め、様々な場面で紙面や押印を廃したり簡略化を図ったりし、保護者や地域の皆様のご理解とご協力を得ています。本取組みのねらいは外ならず教職員の「働き方改革」にあり、今後一層の推進が必要な状況に変わりはありません。

そこで、本校では、来る令和6年度より学校から発出する保護者宛て等の文書について、原則ペーパーレス化を徹底する予定です。つきましては、その可否や程度の見定めとして、3学期をその試行の期間とすることとしました。本趣旨をご理解いただき、重ねてご協力についてよろしくお願ひします。

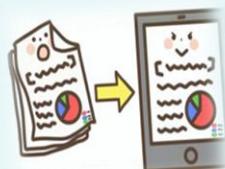
◎ 原則、校長名で発出する文書はすべて、すぐーる等を介して通知します

【想定しているメリット】

- 1 学校は、保護者へ迅速に通知できる。また、保護者は必要な連絡をもれなく受け取ることができる。
- 2 保護者は、スマートフォンやPC等を利用することにより文書をいつでもどこでも閲覧できる。
- 3 教職員は、文書配布に係る手間や時間を大幅に軽減できる。
- 4 学校は、紙媒体の作成に必要なコストを軽減できるうえ、限られた予算を他に還元できる。

【対象としない文書（例）】※次の文書については、当面ペーパーレス化の予定はありません。

- 1 学校だより、学年だより、学級だより（学級指導で使用する他、家庭内掲示等が想定されるため）
- 2 給食の献立表（家庭内掲示を想定）
- 3 考査等の結果、調査結果等の生徒個々の通知（主に個人情報を通知するもの）



【その他】

- 1 「すぐーる」が未登録のご家庭は、ぜひ登録にご協力いただきますようお願いします。登録手順書が必要な方は、学級担任または副校長にご連絡ください。
- 2 施行後、2月下旬を目途に、ペーパーレス化の効果を検討します。（ご意見を聞かせてください）
- 3 前掲の通知に倣い、本校から発出する文書への保護者確認印についても極力縮減するよう努めます。
- 4 「すぐーる」登録ができない等で、紙媒体での通知を希望の保護者の方は、担任または副校長までご相談ください。

新入生部活動体験・学校紹介（6日） / 新入生保護者説明会（11日）報告

『こんにちは～！！』— 明るい元気な挨拶が印象的な喜多見小6年生を迎えて、6日（月）に「新入生部活動体験・学校紹介」を実施しました。生の授業や施設を見学した後、中学校生活について生徒会役員によるスライドや動画を用いたプレゼンがありました。その後の部活動体験では、各部の体験メニューを通じて、両校の子どもたちが楽しそうに交流をする様子がありました。また、11日（土）には、「新入生保護者説明会」を開催。校長から経営の方針の他、各主幹教諭より入学にあたって情報提供を行いました。説明会に先立つて実施の、「ガイドツアー」は今年も盛況。ご協力いただきました在校生保護者ボランティアの皆様に心より感謝申し上げます。



◎次回の学校公開は、2月5日（月）から10日（土）です。本期間以外でも、いつでもご参観いただけます。遠慮なくご相談ください。

「ガイドツアー」保護者ボランティア お礼と報告

今年度も在校生保護者ボランティアの皆様が、小学生の保護者の方々を対象にガイドをしていただき、質問や不安ごとにお答えくださいました。ご協力、ありがとうございました！



【ご協力いただきました保護者の皆様】

荒井 かおり 様 山田 悠美子 様
村上 雅子 様 加藤 珠利 様
石井 奈美 様 三橋 千亜紀 様

令和5年度学校評価 関係者等アンケート調査の回答依頼

世田谷区では、すべての区立小・中学校において学校の自己評価、学校関係者評価を実施し、学校の教育活動や学校運営などの改善・充実を図り、より質の高い学校教育の実現を目指しております。

今年度も下記のとおり学校評価についてのアンケート調査を実施しますので、ご協力についてお願ひします。 **高い回答率にご協力ください！**

【今後の予定等】昨年度より、より簡便な電子回答となっています。

- 依頼の日：令和5年11月27日（月）※紙面とすぐーるにて依頼
- 回答期限：令和5年11月28日（火）から12月12日（火）まで
- 回答方法：URL又は2次元バーコードから回答をお願いします。



12月の予定から

12月1日（金）三者面談（～7日まで）

4日（月）全校朝礼 寒くても爽やかな服装を心がけましょう！

9日（土）土曜授業日 不登校等生徒保護者会（14時00分から）

11日（月）・15日（金）入試相談等につき3年生午前授業（給食あり）

19日（火）1年生校外学習（Tokyo Global Gatewayへ）

22日（金）大掃除（午前授業、給食なし）

25日（月）終業式（給食なし、11時30分頃下校予定）

26日（火）冬季休業（～1月8日）始業式1月9日

* 学校休業日 12月29日から1月3日まで

学校図書館を利用して下さい

12月1日からは、恒例の3年生校長面接練習や全学年三者面談が始まります。待ち時間を利用してぜひ図書館を利用して下さい。また、部活動でも極力再登校をすることのないよう指導しています。読書はもちろん、学習室としても、積極的に図書館の利用を奨励します。来校の際は、ぜひ、お立ち寄りください！

活躍する、喜多見中生！

地域でのボランティア活動に積極的に参加する本校生の姿が光っています。19日（日）喜多見まちづくりセンター主催「古着古布回収」、26日（日）本校会場の「避難所運営訓練」では、地域の一員としての高い自覚をもって多くの生徒が参加をしています。今年度は、「地域落ち葉掃き」を放課後の特別活動として委員会活動を越えて一括統合しています。子どもたちが活躍する姿を見た際には、ぜひ一声応援をお願いします！



12月の相談室の開室日

日	月	火	水	木	金	土
26	27	28 □	29	30 ○	1	2
3	4	5 □	6	7 ○	8	9
10	11	12 □	13	14 ○	15	16
17	18	19 □	20	21 ○	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31	式					

【担当SC】□：都築 ○：高瀬

【場所】相談室は中央校舎1階 保健室の隣です

相談室直通ダイヤル
03-3417-5372